

仙台市地域防災計画修正案 パブリックコメント実施結果

1 実施概要

仙台市地域防災計画修正案を市ホームページにて公表するとともに、市政情報センター、区情報センター、各区役所総合案内、総合支所で閲覧及び配布を行い、下記のとおり意見公募を行った。

- (1)意見提出方法 : 郵送、ファクシミリ、電子メール
 (2)意見公募期間 : 平成26年11月25日～平成26年12月15日

2 意見数

- (1)意見提出数 : 5件 (2人)
 (2)内訳 : 意見5件

3 主な意見等と本市の考え (概要)

意見分類(件数)	主な意見等	本市の考え
災害予防計画等 (1件)	SNSは、FB（フェイスブック）かTW（ツイッター）なのかはっきりさせてほしい。	ご意見を踏まえ、サービス名を追記いたします。 なお、実施するサービスとしては、災害情報を幅広く伝達するため、利用者間による拡散性が高く、緊急情報をより確実に伝える機能を有するツイッターの利用を予定しております。
災害種別対策 (1件)	火山災害対策。御嶽山の噴火予測はできていなかった。吾妻山の噴火警戒レベルも引き上げられた。神戸大が発表したカルデラ噴火は危機管理上無視できない。蔵王山では火山性地震や微動が増加していることを踏まえ、市も火山対策を検討すべき。	蔵王山が噴火した場合には、噴火の規模や風向きによっては、本市にも火山灰が降ることもありうることから、本市と蔵王山の位置関係や気象状況、市民生活への影響などについて气象台や県の助言等をいただきながら火山対策の必要性も含めて検討してまいりたいと考えております。

意見分類(件数)	主な意見等	本市の考え
災害想定の方 (1件)	今から100年前は1914年の第一次世界大戦、500年前は軍師官兵衛の時代、当時の教訓が今に伝えられるのか。後世を見据えた、まちづくりの在り方をもう一度見直すべき。	今回の震災を受け、将来にわたり災害に強いまちづくりを市民の皆さまとともに進めていくことが大変重要と考えており、地域防災計画においても、震災での課題や教訓を踏まえた見直しを既に行っていることから、今後ともソフト・ハード両面から防災・減災対策を進めてまいります。 なお、震災の経験や教訓を後世に伝えることについては、震災復興メモリアル事業において、今後具体的な方法等について検討を進めてまいります。
公助 (1件)	津波避難対策。海岸公園や仙台港に建設される野球場や商業施設は、今後、おそらく津波避難を想定した対策が取られるだろう。	本市沿岸部について、海岸公園には避難の丘を整備し、仙台港周辺には、民間企業との協定等により津波避難ビルを確保するなど、震災復興計画に基づいた津波避難対策を計画的に進めてまいります。
その他 (1件)	国連防災会議の開催や成果を記載すべきではないか。	国連防災世界会議の結果を踏まえ、必要な事項については、地域防災計画への反映を検討してまいりたいと考えております。